



# 2022年4月18日 『朝礼時法話～報告事項』

## (1) 法話概略【“ちがいはこわい？おもしろい？”】

先月、東本願寺に全国の中高生が集い、人生観の学びと奉仕活動が開催されました。今回のメインテーマを『ちがいてこわい！？』と設定し、オンライン講師を務めさせて頂き、共に探求して参りました。

皆さんは、いかがでしょうか？周りの人と自分が違っていると不安になる事はありませんか？逆に、周りとの違いがおもしろいなんて感じる事もあるうかと思います。その感じ方の違いって何なのか？などという事も、先に述べた研修会で、中高生といっしょに探求いたしました。ある女子高生の方は、

『私は、周りと違っていても全然こわくないです。むしろ、ちがいを認め合えています。』

とありました。「それぞれの違いを認め合えるということは、貴方は周囲の方にとても恵まれていると思うので、ぜひ大切にしてくださいね。一方で、世間には、その違いを良しとしない人たちも居るので、それも知っておくといいかも知れませんね。」と話しました。また、他の女子高生の方は、

『私は、自分と感覚が違う人に会うと、受け容れられない自分がいます。その違いを受け容れられる大人になりたい。』

という、優しい目標を述べられていました。最後に話した男子中学生の方は、

『一人一人が本当に違っていて、それを理解し合えていけば違っていてこわくないと思うんですけど、以前、周りの友だちと僕の考えだけが違っていた時があって、それは言い出せなかったです。大人数の集団と自分だけが違うという状況だと、やっぱり違うのは怖いです。』

と仰いました。とても、深い考察だったと思います。

環境や自分の状態によって、私たちも周囲と違うことに不安を覚える時があれば、その違いがおもしろかったり、嬉しかったりすることだってありますよね。大切なのは、違ったか同じだったかという捉え方で終わるのではなく、なぜ違っているのか？どこが違って、それがどう影響するのか？という考えを深めることだと思います。

### 「みんなちがって みんないい」（金子みすゞ）

皆さんご存知の有名な言葉です。目指すのは、この言葉のように、お互いの違いを認め合っていく姿ですが、光寿会のこと置き換えて考えてみます。今年度最初の所信表明において、法人理念をお伝えしました。この場合、目指すべき理念は一つであり、その向かうべき方向性に違いがあってはなりません。目指す山の頂は同じところですが、登るルートは沢山あります。どのルートを登るかはそれぞれ違っていい。つまり、今年度の法人テーマも共通のもの【続・知る】を基本としているけれど、各部署や各ユニットの目標は其々違いが出てきます。それでいいわけです。言葉掛け一つでも、“天気がいい。”という事柄をどう表現するかは個々に特色の違いがあつていいわけです。

違いを認め合えるという雰囲気づくりを、みんなと同じく持てるように目指して参りましょう。

## (2) コロナ対策等について

今日から自宅待機となっていた2名の職員が戻ってきてくれました。おかえりなさい。現在の対応や状況については、4月15日付の別冊『コロナウイルス対策会議①』をしっかりと目通し下さい。

【光寿会理事長】